

## 2. 安心できる環境づくりのヒント - 支援を受けた子どもが支援者になる

特定非営利活動法人「人間の安全保障」フォーラム

地域内の支援者の再生産というループを作り出す事が期限付き助成事業の最大の意義であり、弊法人は「次世代人材」を「その地域の抱える課題を解決する人物」位置づけ、単に学習支援を受けるだけでなく、スタッフや地域の大人達との交流と議論を重ね、地域の課題を一緒に探し、認識するプロセスを大切にしてきた。その結果、被災した自分の街を立て直すため、学習支援を受けた経験から教育に携わるため、震災前にはなかった大学進学というキャリアビジョンを描く子供もでてきた。

また、大学の進学に加えて、高校受験や地場産業について子どもたちが「なぜ勉強するのか」と言う事に意識を向けるようになった。これにより、弊法人の学習支援は、子どもたちにとって「自分が何をしたいのか、今何が出来るのか、そして社会にとって自分はどの様な役割を果たせるのか」といった事を考えさせる機会になった。

これは前述した様々な支援アクターとの交流が大きな要因になったと考えられる。そして、この成果として、学習支援に参加していた年長者が自分よりも年下の参加者のケアを行う、世代間支援が実現した。結論としては、地域にない人材との交流を活発化する事で、次世代人材の視野を広げるとともに、自分の地域の比較優位と課題を見つめなおす機会を創出することこそが次世代人材育成の目指す高見である。